

# 今外来で多い病気

## マイコプラズマ肺炎

- ・ 年長のお子さんに多く、熱や乾いた咳が長引くのが特徴です。  
潜伏期間は2～3週間といわれています。
- ・ 胸の聴診では雑音が聞かれることはあまりありませんが、胸のレントゲンをとると白い肺炎の影を認めます。
- ・ マイコプラズマ感染症の診断は血液検査でマイコプラズマ抗体を調べて行います。ただし検査法によっては数日を要するものもあります。
- ・ 治療はマイコプラズマに効く抗菌剤を内服します。粉薬は苦味が出ることがあるため、水に溶かして飲ませてください。大きなお子さんなら外来での点滴も併用して治療することが可能ですが、熱が下がらず症状がひどければ入院を勧める場合もあります。
- ・ マイコプラズマ肺炎は学校伝染病第3類・その他の伝染病に分類されており、熱や咳などの症状が良くなって全身状態がよければ登校可能となっています。マスクをして学校に行きましょう。